

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜松南教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日	~	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	16	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和8年1月5日	~	令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	近くにふれあい交流センターがあるため、ホールやグラウンドを利用、イベントに参加、地域のご高齢の方々との交流など経験を積むことができている。	いろいろな人と関わることや、様々な行事に触れるために、年に数回、ふれあい交流センターの方々と一緒に行イベントを設定している。（ハロウィン、七夕、クリスマス、敬老会など）また、ふれあい交流センター主催のイベントに参加している。	ふれあい交流センターだけでなく、地域のいろいろな施設を利用するなどして、経験の場を広げていきたい。ご高齢の方々との交流は続けていきながら、同年代くらいの子どもたちとの交流もしていくとよい。
2	定期的な保護者同士の交流の場を設け、家族への支援を行っている。	隔月で開催している「おしゃべり会」は、保護者がリラックスして交流できる大切な場所です。似た境遇にあるからこそ分かり合える悩みや喜びを分かち合う時間は、参加される保護者にとって大きな励みとなっています。	一部の保護者に限らず、より多くの方にご参加いただける環境づくりを目指します。具体的には、年間の実施スケジュールを早期に提示することで、お仕事等の調整をしやすくします。あわせて、開催頻度や時間帯についてもニーズを反映し、参加のハードルを下げていきたいと考えています。
3	定期的に、活動内容や行事などを発信している。	毎月1回『こばんだより』として、普段の子どもたちの活動の様子や行事予定などを写真入りで作成している。また、活動中に撮った写真を委託業者を通して投稿することで、こばんだよりには載せきれない子どもたちの写真を見てもらえるようにしている。	普段の活動の様子をお伝えする中で、その活動を通してどんな経験をしているのか、どんな目的で行っているのかなど、教室の取り組みを分かりやすく伝えられるものになっていくとよいと思う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の幼稚園や保育園、子ども園さんと交流する機会がもてていない。	こちらから、交流の機会をお願いすることをしていない。一般的の園となると、それぞれの園のカリキュラムなどがあり、忙しいと思ってしまうし、一緒に交流するにしても、内容にとても悩む現状がある。できることに限りもあるため、声掛けをするのもためらってしまう。	園訪問や普段の連携をとる中で、話題として交流について触れていくとよいと感じる。お互い無理のない範囲で、交流の経験ができるとよい。 一般的の園だけでなく、地域のイベントへの参加も含めて、いろいろな人たちと関わる経験は積んでいきたい。
2	きょうだい同士で交流する機会を設けていない。	利用児もいて、さらにそのきょうだいの交流となると、活動内容も難しいので、今は利用児のイベントに兄弟も参加可にして、一緒に楽しむ機会は作るようにしている。実際、きょうだい同士の交流にはなっていないと感じる。	運動会では、家族での参加を呼び掛けているため、参加はしてもらっているが、内容が利用者中心になっている。内容 자체を検討し直し、例えばきょうだい児のみ参加の競技を作つてみるなど、一部分だけでもきょうだいに焦点をあて、利用児も応援して楽しむなど、工夫していくとよい。
3	地域に開かれた事業運営ができていない。	地域のイベントに参加するなど、招待を受けてこちらから参加させていただく機会はあるが、こちらから声掛けをして招くことはしていない。人を招待してイベントを開くには部屋のスペースもなかつたり、できる内容も限られるため、難しさを感じる。	地域の方々との交流を通して、どんなことなら招待して交流することができるのかは検討していきたい。 また、作品展などで作品を飾らせていただく機会があるため、そこで事業所紹介のパネルなどを作成し、まずは事業所自体を知っていただくことにも取り組んでいきたい。

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら 浜松南教室		
○保護者評価実施期間		令和8年1月5日	～
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間		令和8年1月5日	～
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動が固定化されないように工夫している。	月案作成においては職員全員で行い、多角的な視点から活動内容の偏りを防いでいます。日々の支援においても、子どもの状況を即座に反映させ、内容の最適化に努めています。また、活動の場を事業所内に限定せず、ふれあい交流センターなど、積極的に地域社会へと視野を広げ、子どもたちが豊かな社会経験を積める新たな機会の開拓と活動範囲の拡大を進めています。	子ども理解を深めるため、日々の観察からの職員間の情報共有を徹底し、子どもたちの興味・関心がどこにあるかを的確に理解します。あわせて、外部研修や地域交流への積極的な参画を通じて地域について知り、多角的な情報を収集・活用できるようにしていきたいと思います。
2	定期的な保護者同士の交流の場を設け、家族への支援を行っている。	隔月で開催している「おしゃべり会」は、保護者がリラックスして交流できる大切な場所です。似た境遇にあるからこそ分かり合える悩みや喜びを分かち合う時間は、参加される保護者にとって大きな励みとなっています。	一部の保護者に限らず、より多くの方にご参加いただける環境づくりを目指します。具体的には、年間の実施スケジュールを早期に提示することで、お仕事等の調整をしやすくいたします。あわせて、開催頻度や時間帯についてもニーズを反映し、参加のハードルを下げていきたいと考えています。
3	ふれあい交流センターがすぐ近くにあるため、ホールの使用、催しへの参加、地域の方々との交流、公共の場のマナー・ルールの学びができるている。	社会との接点を広げるべく、常に感度を高く保ち、積極的に外出の機会を模索しています。公的な場や地域行事へ主体的に参加できるよう、日頃から情報収集に努めています。	ふれあい交流センター内に留まらず、他施設や地域社会へも活動の幅を広げるため、アンテナを高く持ち情報収集に励みたいと考えています。外部の職員交流会にも足を運び、生きた情報を交換することで、新たな可能性を探っていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われる こと ※事業所の課題や改善が必要だと思われる こと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルを策定しているが、保護者への周知ができていない。	マニュアルの策定プロセスに全職員が参画できていないため、まずは事業所内での情報共有を徹底する必要があります。また、現在は作成・保管すること自体が目的化しており、活用が停滞しています。今後は、多岐にわたるマニュアルの内容を、いかにして保護者へ分かりやすく伝えていくかが検討課題です。	まずは、マニュアルの種類とその内容を全職員が深く理解できるよう、研修の機会を設けて周知を図りたいと思います。あわせて、保護者の方にもお便りなどを通じて取り組みを発信し、安心感につなげていきたいと考えています。
2	関係機関や医療・教育現場との連携会議は、現状施設長が中心となって対応しており、一般職員が同席する機会が限定的となっている。	日々の直接支援を優先せざるを得ず、現場を離れる調整が困難な状況があります。外部会議や関係機関との連携の重要性は十分認識していますが、実務との折り合いがつかず、参加ができないのが現状です。	児発・放デイの連携を強化し、全員でフォローし合える『チーム体制』を構築する必要があります。自立支援協議会等の外部会議への参加状況を可視化し、誰もが積極的に経験を積める環境を整えたいと思います。
3	No.18「父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。」について、きょうだい支援は取り組めていない。	運動会やコンサート、年度末のふれあいデー等の行事には、ご家族やご兄弟の参加を歓迎してきました。しかし、利用者への直接支援を優先するため、きょうだいを対象とした個別の活動展開にまで職員を割くことが難しく、今後の課題となっています。	運動会を講師を依頼し家族全員参加型にしたことで、参観している兄弟姉妹が単なる見学者に留まらないようになりました。このような参加型の企画を今後も検討したいと思います。また、地域イベントの際にも積極的に声掛けを行い、共に活動を楽しめる機会づくりに努めていきたいと思います。